

令和6年2月22日発行  
京都府丹後保健所 保健課  
(丹後地域包括ケア推進社)

## 1 丹後地域オレンジロードつなげ隊圏域連絡会（第2回）について

去る1月26日(金)に、今回は管内認知症カフェ連絡会とキャラバン・メイト連絡協議会と合同で研修会を開催しました。

まず、「認知症当事者及び家族による講演」で、宇治市在住の当事者と妻に診断された頃のお話や今の活動、日々思うことなどをお話しいただきました。

次に、「認知症サポーター養成講座における標準教材の改訂に係る説明会」で、昨年10月に改訂された認知症サポーター養成講座の標準テキストの編集などにも参加され、どのように活用してほしいか、どういう思いを伝えてほしいかなど講座や啓発における心構えなどを公益社団法人認知症の人と家族の会、代表理事の鎌田さんにお話しいただきました。

### 「認知症当事者及び家族による講演」

当事者は大手通信会社の技術者として働いていた在職中に発症された。

2015年くらいから妻は夫の違和感を感じており、自然と治る気がしなかったため、受診を勧められ、2019年に受診。しかし、2年4か月くらいは診断が下らなかった。その間も不安で、妻は病院のカフェに通っていた。そこで、認知症の事や対応の仕方、他の人たちの様子を知ることが出来た。夫は行きたがらなかったが、運動が好きであり、洛南病院内デイケアのテニス教室があったので、そこだけ行くようになった。

その関わりの中で医療機関から「京都府こころのケアセンター」を紹介され、相談しながら様々な制度を活用して昨年、定年退職を迎えられた。

2022年からはカフェほうおうの「作業工房」にも通っており、注文を受けて木工製品を作って対価を得ている。同じ立場の人と出会って話をしていくうちに、会社で認知症の方を対象としたボランティアサークルに参加し支援していた「こっち側」と、支援される「あっち側」を壁で隔てていたけれど、何も変わらないと気付いた。

今は、障害福祉サービスも介護保険サービスも何も使わずに過ごしている。

妻としては、本人が行きたい時に行ける場所があることが幸せで、近所や地域の人へ夫が若年性認知症であることを話し、快く受け入れてもらえていると感じている。それも、諸先輩方が今の状況や環境を作ってくれたのだと思って、自分達も続いて発信していくことが必要だと思い、今後も、認知症になっても普通に過ごせるということを明るく発信していきたい、と今回の講演も引き受けてくださった。

研修会中に紹介された「京都認知症総合センターの本人・家族・支援者教室」のホームページについて、掲載します。

[お知らせ | 京都認知症総合センター \(takedahp.or.jp\)](http://takedahp.or.jp)





(左) 京都府こころのケアセンターの若年性認知症支援コーディネーター  
(右) 当事者と妻

### 「認知症サポーター養成講座における標準教材の改訂に係る説明会」

自身も親の介護を経験し、その時の思いや世間の状況など話された。その思いもあり、理解ある社会になってほしいと日々奮闘されている。

認知症サポーター養成講座の標準テキストは 19 年前に初めて作成されたものが現在まで使用されている。当初は、まず「認知症」というものを知ってもらう事に重点が置かれており、認知症になったら何もわからなくなるような間違った印象を与えてしまった場合もある。

今回の改訂では、認知症の人を一人の人として接すること、自分事として捉えることに重点が置かれるようになった。

また、地域特性に合わせて、オリジナル教材を使用することも可能で、むしろ、積極的に使用し、受講者に何を伝えたいかをしっかり考えて実施することが重視されている。

自分たちの地域ではこんなことをやっている、こんな風にやっていきたいなど、受講者が出来ることを具体的に示し、また、当事者本人の参加を促すためにも、まずは一緒にいる時間を大事にして欲しいと。



#### 認知症サポーター養成講座標準教材 改訂のポイント

1. 認知症は病気の「医学モデル」、認知症の人は支援される存在という「特別な存在感」が重視された19年前の教材から...  
⇒病気である認知症は理解しながらも、**認知症の人を病気からでなく「人」としての存在を重視する「生活モデル」**
2. 認知症の人だけでなく、人々の多様性を尊重しその人らしく生きる**共生社会の実現**をめざす
3. 認知症を**自分事**として考える・引き寄せる
4. **地域性の重視**：受講する認知症サポーターが活動する地域実情に応じたアレンジした内容での開催OK  
・イネーブル（可能にする、できるようにする）という視点を  
・イネーブラー（何かを可能にする人）に認知症サポーターがなる

改訂された認知症サポーター養成講座の標準テキスト

認知症の人と家族の会  
代表理事の鎌田氏

